

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和4年6月）

令和4年6月の白石踊に関わる高校生の活動について報告します。

1. 高校での白石踊講習会

倉敷翠松高等学校では、今年度、白石踊の継承など白石島への貢献活動をしようと15人が活動を始めました。まずは自分たちで白石島や白石踊について調べ学習を進めました。そして6月13日、白石踊会笠岡支部の会員の方々に学校へ来ていただき、白石踊のご指導を受けることとなりました。

白石踊には13種類もの様々な踊りがあり、その中で「ブラブラ踊り」「男踊り」「傘踊り」「月見踊り」を教えていただきました。その他にも、扇子を使った華麗な踊りも見せていただくことができました。白石踊を実際に踊ることは活動を通して初めてだったので、不安や緊張もありましたが、講師の方々の丁寧な指導により、伝統や歴史を学びつつ、魅力や楽しさを実感でき、とても新鮮な体験になりました。今後も活動していく中で、白石島や白石踊をさらに学び、少しでも多くの人々に文化や歴史を知ってもらい、継承していくことができるようにしていきたいです。 （文章：小川達也）



2. 白石踊鑑賞ツアーの高校生・大学生ガイドの研修

白石踊の継承に取り組む高校生・大学生が7月16日（土）に開催される「白石踊鑑賞・体験ツアー」で、参加の皆さんを開龍寺までご案内するボランティアガイドに志願しました。その事前研修が6月18日（土）にありました。今回ガイドの勉強ということで、白石公民館長の天野正さんと共にコースを歩きながら、説明を聞きました。

高校生は私だけでしたが、先輩方と一緒に天野さんの説明を聞き逃さないように要所を掴みながらメ

モを取りました。今回、説明を聞くことによって、白石島の良さがより分かりました。

まず、白石島の歴史の長さに私は驚きました。白石島には親戚もいて私はよく行くのですが、私の知らないことをたくさん知ることができて嬉しかったです。7月16日の白石踊ツアーでは今度は私がガイドを務めることになると思うと緊張しますが、たくさんの魅力溢れる白石島を自分から発信できることをとても嬉しく思います。

(文章：山下 結)



3. 高校生ボランティア・アワード 地区大会

6月26日(日)に風に立つライオン基金主催 高校生ボランティア・アワードの地区大会がオンラインで開催されました。いくつかのグループでお互いの活動を報告し合い、交流する場でした。私たちのグループでは「白石踊 800年の伝統を受け継ぐ会」を含め、11団体が集まり発表をしました。

「誰かの役にたちたい」という「志」をボランティア活動に結びつけ、各々の活動を高校生たちが発表するこの場は、とても熱意で溢れていました。自分たちの今後の活動に生かせることや新しい着眼点など、他の高校生のプレゼンテーションを聞くことで学ぶことがたくさんありました。今回、私がプレゼンテーションを担いましたが、白石踊の歴史や私たちの日頃の活動を参加者に知ってもらう機会になりました。

高校生ボランティア・アワードの全国大会は8月16日～17日に東京で開催されます。全国大会に参加できるかどうかは7月中旬に決まります。全国大会に行けることになったら、日本各地で頑張っている高校生と交流してみたいと思います。

(文章：山下 結)



以上